**福島国際研究教育機構（F-REI）委託事業**

**「被災地企業等再生可能エネルギー技術シーズ開発・事業化支援事業」**

*※記入欄が足りない場合は、適宜様式を編集してご記入ください。*

*※申請書本体で6ページ以内にしてください。*

*※青字斜体の注意書きについては、削除してください。*

国立研究開発法人 産業技術総合研究所　宛

**支援事業申請書（個別企業型）**

受付番号：*※記入しないでください。*

シーズ支援課題名：

申請者情報

法人名：

代表者役職：

代表者氏名：*氏名　押印*

所在地：*郵便番号もご記入ください。*

電話番号：

被災地域（福島県浜通り地域等15市町村）との関連：

*研究拠点・生産拠点の名称及び所在地又は進出予定場所・時期等*

ホームページURL：

設立年月日：*（年号）○○年○○月○○日*

資本金：*○○○○○○円*

令和*○*年度　総売上高：*○○○○○○円*

令和*○*年度　経常利益：*○○○○○○円*

従業員数：*○○○○人*

主要業務の内容・実績：

本申請連絡担当者：

所属；

氏名；

電話番号；

電子メール；

内容

１．当該シーズ又は当該シーズを使った製品等の概要：

*用途、特徴など*

２．当該シーズの新規性、技術的優位性、技術的課題、市場性、脅威などSWOT分析についてご記入ください（以下の例を参考にしてください）。：

●新規性：*従来にない技術の特徴、これまでの課題をどのように解決できるのか？*

●優位性（Strengths）：*他の競合技術に対する優位性は何か？*

●課題（Weaknesses）：*当該技術の解決すべき課題は何か？（コスト、耐久性、実証データの不足など）*

●市場性（Opportunities）: *当該技術がどのような製品に結びつくのか？市場ニーズはあるか？どの程度の市場規模が期待できるか？（詳しくは７．にご記入ください）*

●脅威（Threats）：*当該技術を事業化するに当たって想定されるリスク、脅威は何か？（競合相手、中国企業の参入、XX資源の価格高騰　など）*

３．シーズの開発経緯：

*国や県のプロジェクトなど、公的研究資金の活用歴や、大学・公的研究機関・企業との共同研究歴などがあれば、ご記入ください。*

４．当該シーズの現在の事業化状況、将来のビジネスプラン：

*当該シーズが現在すでに一部実用化されている場合は、現在の状況をご記入ください。また、本申請により、現行ビジネスをどのように発展させるか将来プランをご記入ください。*

*当該シーズがまだ事業化に至っていない場合は、将来の事業化計画について、工程表を詳細にご記入ください。（事業終了後５年以内に事業化及び売上高を計上することを目標にしてください。）*

５．当該シーズの関連特許等：

*当該シーズに関連する特許の取得状況、出願計画について、ご記入ください。*

６．当該シーズを実用化するため、産総研に依頼したい技術支援の内容：

*例：新たに開発した＊＊＊＊技術を評価し、＊＊＊であることを実証してほしい。*

*＊＊＊＊の技術的課題を解決するための＊＊＊の技術の開発を支援してほしい。*

７．被災地域における新産業・雇用の創出効果：

*市場規模、シェア、雇用規模など、何年頃に経済効果が期待できるか？**その他アウトカムはあるか？*

８．他制度への応募状況（該当する場合のみ記入）：

*本申請における課題（産総研が実施する技術支援)と類似の課題を他の公募や補助金制度に応募している場合は、応募制度、課題名、簡単な内容及びどのように切り分けされているかをご記入ください。*

９．大学・公的機関等との連携（該当する場合のみ記入）

*※本コンソーシアム以外で研究開発に関係する大学・公的機関、その他の連携機関などがある場合は、以下にご記入ください。*

*※複数ある場合は、大学・公的機関等毎に各項目を追加してご記入ください。*

大学・公的機関等名：

代表者役職：

代表者氏名：

所在地：*郵便番号もご記入ください。*

電話番号：

被災地域（福島県浜通り地域等15市町村）との関連：

*研究拠点・生産拠点の名称及び所在地又は進出予定場所・時期等。必須ではありません。*

ホームページURL：

設立年月日：*（年号）○○年○○月○○日*

資本金：*○○○○○○円*

従業員数：*○○○○人*

主要業務の内容・実績：

本申請連絡担当者：

所属；

氏名；

電話番号；

電子メール；